

ミニトマト 大雨対策と秋季管理について

8月11日以降の大雨前線により一部浸水したほ場が見られます。

根痛みによる生育不良、病害の発生が懸念されるため、以下の対策を行いましょう。

引き続き土砂災害の危険があるほ場もあります。無理して危険なところに入らないよう
気を付けてください。

○前線通過直後対策

■排水

- ・土砂の流入で**排水溝が埋まった場合は速やかに手直し**し、スムーズに排水させる。
- ・通路に水が溜まっている場合は**ハウス内にも溝を切る**等、表面排水を迅速に行う
- ・畝内の過湿が続く場合、**マルチ裾をめくって早急に畝を乾かす**。

■防除（**灰色かび病、すすかび病対策**）

- ・大雨通過後病害の発生が懸念され、殺菌・予防のため**早期に以下剤のいずれかで防除**。

- ・パレード 20フロアブル（灰・す、2,000倍、3回）
- ・アフェットフロアブル（灰・す、2,000倍、3回）
- ・シグナム WDG（灰・す、2,000倍、2回）

※灰：灰色かび病に登録あり、す：すすかび病に登録あり

■草勢維持に向けた栽培管理

○裂果果実の摘果

ハウス内浸水したハウスでは裂果の多発が見られます。裂果部分に発生したカビから病害が拡大するため、草勢維持対策と兼ねて**裂果果実を摘果**する。

○液肥の葉面散布

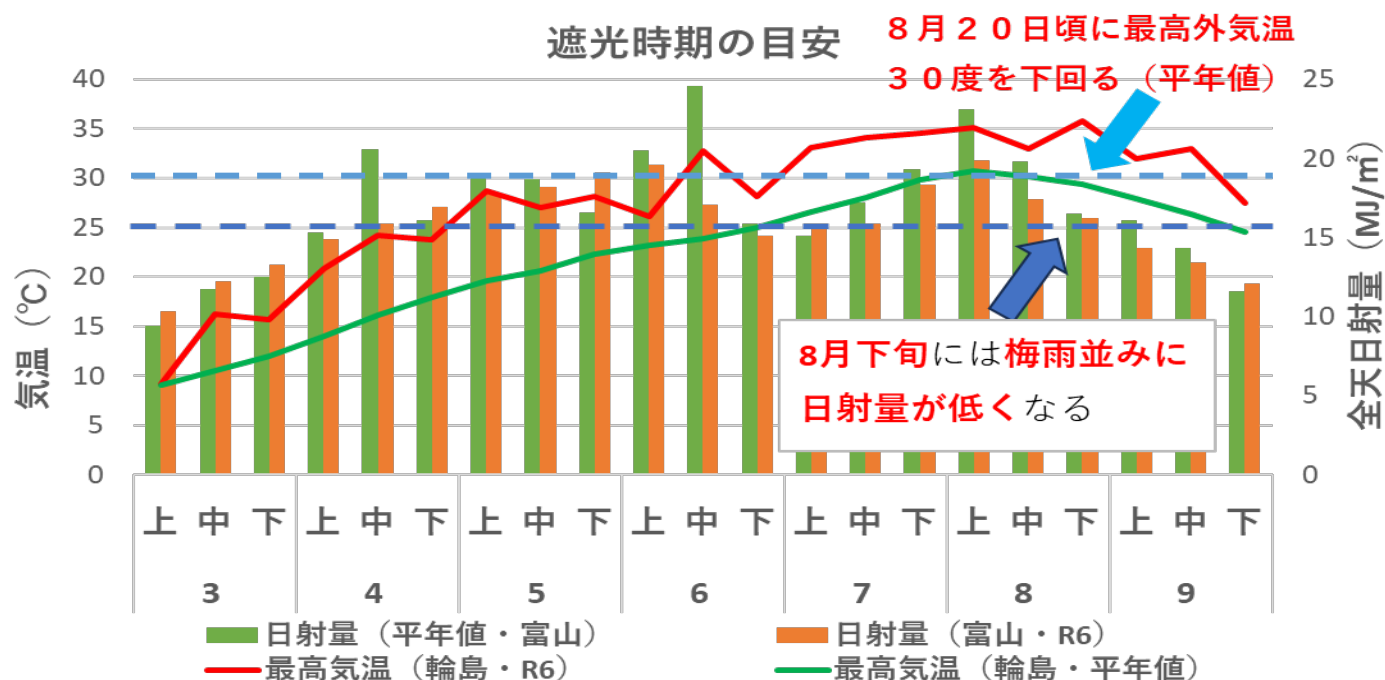
着果負担と長期の曇雨天による草勢の低下が見られます。草勢の回復のため、400～500倍に希釈した**液肥（液肥10号など）の葉面散布**を行う。

※収穫を切り上げる場合は、**早めに収穫**し、病害果・傷果等が入らないよう注意！！

○秋季栽培管理（8月中下旬以降）

■遮光除去

8月20日以降で**最高外気温30度（ハウス内35℃）**を下回るようになったら遮光資材を外す（**曇雨天見込み日の前々日～前日がベスト！！**）



■害虫対策

ハウス内35度を下回る頃からアザミウマ、オオタバコガ、コナジラミが発生しやすい。

防除体系を確認し定期防除に努め、下葉など葉が混んでいるところは葉かきする。

- ・ マッチ乳剤（ア・オ・コ、2,000倍、2回）
- ・ アファーム乳剤（オ・コ、2,000倍、5回）
- ・ スピノエース顆粒水和剤（ア・オ、5,000倍、2回）

※ア：アザミウマに登録あり

オ：オオタバコガに登録あり

コ：コナジラミに登録あり

作業は安全を第一に行い、少しでも危険を感じたら絶対に作業を行わないでください！！

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

JAのと 営農部 営農推進課

0768-52-3813

奥能登農林総合事務所 農業振興部

0768-26-2323